

働きやすい職場認証制度 申請受付開始

国交省 9月16日から

国交省は21日、トラック・バス・タクシーの自動車運送事業の運転者不足に対応するための総合的取り組みの一環として、「働きやすい職場認証制度」(正式名称は運転者職場環境良好度認証制度)の創設を決定した。

同制度は、職場環境改善に向けた各事業者の取り組みを「見える化」することで、求職者のイメージ刷新を図り、国交省と厚労省が連携し、運転者への就職促進を目的としたもの。

基本的な取り組みで「一つ星」として認証。さらに、自主的に、先進的な取り組みを参考点として点数化する。なお、「二つ星」「三つ星」を広く徹底するため、2020年度は認証を含めた本格運用については、「運転者の労働条件・労働環境向上の状況や、自主的・先進的な取り組みを含む事業者の実態などを踏まえつつ、今後の運営委員会で審議予定」としている。

同日、認証実施団体の一般財団法人日本海事協会(CIASSNK)は、同制度の「一つ星」の申請受け付けを9月16日から開始すると発表した。申請期間は同日から12月15日の3か月間。認証項目と申請方法の詳細については、同制度WEBサイトで掲載している。また、申請受付開始に向けて、制度の概要や申請のポイントを解説する動画も配信している。



「一つ星」認証マーク

「一つ星」認証マークは、自主的に、先進的な取り組みを参考点として点数化する。なお、「二つ星」「三つ星」を広く徹底するため、2020年度は認証を含めた本格運用については、「運転者の労働条件・労働環境向上の状況や、自主的・先進的な取り組みを含む事業者の実態などを踏まえつつ、今後の運営委員会で審議予定」としている。

認証事業者の公表も準備している。は来年5月20日を予定で、運行車両などに貼付できる認証マークのステッカー

申請の場合、同料は1申請あたり5万円(税別)。インターネットによる電子申請の場合は、同3万円(同)に割引かれる。登録料は同6万円(同)。(真鍋大樹)

STOP医療崩壊プロジェクト

日本リユースシステム 賛同企業募集

日本リユースシステム(山田正人社長、東京都港区)では、新型コロナウイルスによる医療崩壊を防ぐため、「赤い羽根」の社会福祉法人東京都共同募金会(同新宿区)と東京都セルプセンター(同中野区)と連携し、「STOP医療崩壊プロジェクト」を推進。6月から累計32の病院や福祉施設に医療用品と感謝のメッセージを届けてい

る。同社では、「自分のできる行動を起していこう」をコンセプトに、災害等が発生した際に必要なモノ・コトを必要とする人へ適切なタイミングで届ける「Just In Time Best Action事業」を展開。同事業では現在、同プロジェクトへの寄付を募集しており、物流事業者へ支援を呼び掛けている。法人向けは1支援助100万円で、全額損金に算入できる。事務局の鈴木詩織氏は、「不足しているマスク、フェイスガード、ガウンなどの医療用品とともに『感謝の気持ち』を伝え、今回のプロジェクトを通して医療従事者を物心共に支えていく」と説明。



「物流業界には、『医療・福祉の現場へ何か役立ちたい』と、熱い『勇氣』をお持ちの企業様が多くいらっしゃるかと思います。ぜひ賛同頂ければ」としている。(真鍋大樹)

日本通運が本格稼働 自律協働型。ピ

日本通運は品川支店の物流センターにおいて、Rapyuta Robotics社(Cajari)の自律協働型ロボット(Mohamara)を開発した。ロボットサービスを提供するプラスオー トレーション(飯間卓社長、東京都港区)とで実証実験を進めてきた自律協働型ピックアップロボット(以下AMR)の本格稼働を8月から開始したことを、8月26日に発表した。AMRは既存の倉庫でもレイアウト変更やマテハンの更新をしなくても導入可能なロボットで、日通では2018年10月からRapyuta Roboticsと共同で開発を進め、2019年6月からダイキン工業の協力を得て、同社の製品保守サービスのパートナー業務を行う物

流センターでの稼働を開始。実験には10台の配置し実証能開発を日通では実証実験的である作業の効率向上、荷軽減を効果を得ることが確認された。また「改善」ことで簡易性・見やすくなり、視覚も実在されたこと。従前から、誰業を行える環境を整えられ、作業への教育の時間短縮など間接的な効果も図られる」と説明